

# 中部大学民族資料博物館 2012年 秋季展示のご案内

入場無料

「写真展 トプカブ宮殿に秘蔵されてきた「謎めいた絵画作品」に見る、  
15世紀・東西アジアの文化交流～シルクロード(砂漠・草原の道)の終焉」

9月25日(火)～12月14日(金) 民族資料博物館 多目的室

協力：東西美術交流研究センター

10月17日(水) 秋季連続講演(第一回)終了後 講師杉村 棟氏により展示室にて解説予定

トルコ、イスタンブールにあるトプカブ宮殿に秘蔵されてきた約45冊の画帳の中に、編纂時期が15世紀頃と推定されるが何時、何処で、誰が、何のために制作したのか一切不明な絵画作品がある。

本展示ではこれらを1970年に日本人研究者たちが初めて調査・撮影された写真資料を紹介することでシルクロードの終焉時期といわれる15世紀に東西間の通商と文化的交渉の状況として中国や日本の陶磁器類をはじめとした美術工芸品がどのように受け入れられていたのか初公開の貴重な作品写真約50点あまりをもとに解明していきます。



公共交通機関のご利用にご協力ください。JR中央本線 神領駅下車 スクールバス7分